

国見町文化財調査報告書(概報) 第2集

まつ 松 お 尾 遺 跡

かなやま
—金山地区圃場整備事業に伴う発掘調査概報—

2002

長崎県国見町教育委員会

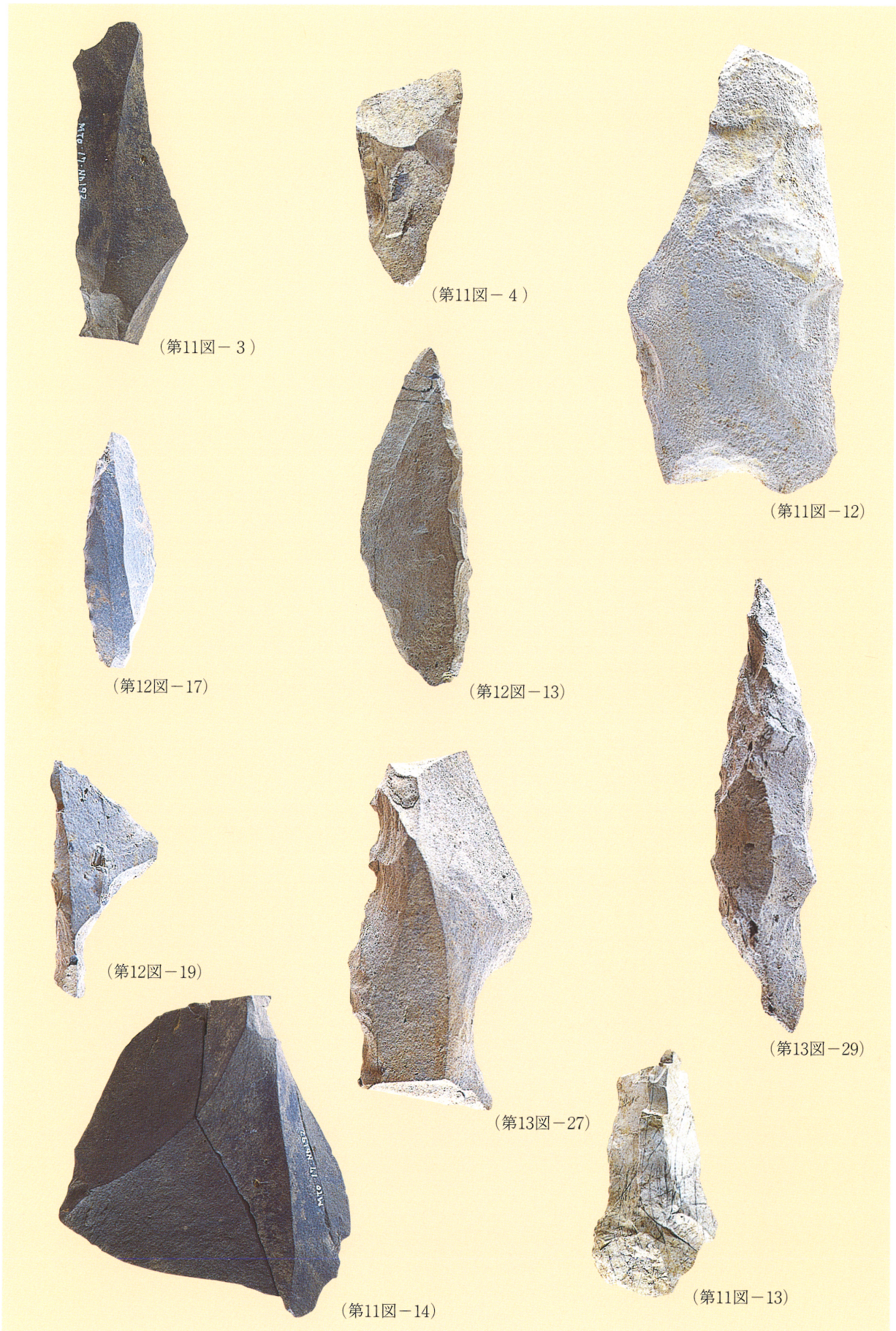


巻頭カラ① 縄文土器 (1/2)

0

10cm

右下耳栓 (2/3)



発行にあたって

このたび平成8年度・9年度に実施しました金山地区圃場整備事業に伴う松尾遺跡の緊急発掘調査（概報）の報告書を発刊することになりました。

松尾遺跡は、国見町高下名に所在します。旧石器時代～奈良平安時代まで続く複合遺跡で、特に旧石器時代の石器群は九州でも最古級の可能性が高く、中期旧石器時代のものと考えられています。また、縄文時代においても県内で初めて縄文早期の耳栓（ジセン＝土製のピアス）が出土するなど貴重な発見が相次いでいます。

このほか、旧石器時代では後期旧石器時代初頭の石器群、および後期旧石器時代中頃の石器群。長崎県では松尾遺跡と百花台遺跡でしか出土していない縄文時代早期の壺形土器の出土など貴重な資料が多いことは特筆すべきことです。また、このように幅広い時代にわたって古代人（国見町の祖先たち）の生活の痕跡が確認される例はまれであり、その点でも松尾遺跡は非常に重要な遺跡であります。国見町の歴史のみならず、長崎県あるいは九州の歴史を語る上で「鍵」となる遺跡と言えましょう。

このような貴重な遺跡は、わが町の歴史・文化を正しく理解するために欠くことのできないもので、町としても重要な文化遺産として活用するとともに、文化の向上・発展につなげてまいりたいものです。また、この貴重な文化財を後世に伝えていくことは郷土を知り、引いてはふるさとを愛することにも繋がることを肝に銘じたいと思います。国見町にはまだまだ埋蔵文化財が存在する可能性が高く、今後とも注意を払って見守りたいと思います。

最後に、今回の調査にあたり、地元土地所有者の皆様、工事関係者、御指導御協力をいただきました県学芸文化課ならびに関係の先生方、調査作業等に從事していただきました作業員の皆様に心から感謝申し上げ発刊のあいさつにいたします。

平成14年3月31日

長崎県国見町教育委員会

教育長 原 宮 之

例 言

1. 本概報は1996年～1998年（平成8年度・平成9年度）に実施した金山地区圃場整備事業に伴う長崎県南高来郡国見町に所在する松尾遺跡の緊急発掘調査の概報である。
2. 調査は国見町教育委員会が担当した。
調査は1996年5月27日から7月11日（平成8年度）に範囲確認調査を実施し、その結果をもとに1997年1月10日から3月7日（平成8年度）及び1997年11月27日から1998年3月23日（平成9年度）までの間実施した。
3. 調査体制は次のとおりである。

調査主体	国見町教育委員会	教育長	阿比留亨（当時）
	同	教育次長	松本安央（当時）
	同	社会教育係長	江副俊一郎
調査担当	同	教育次長	松本安央（当時）
	同	文化財調査員	松崎由紀子（当時）
	同	社会教育係	辻田直人
4. 遺構・遺物の実測は酒井由紀子・桑塚秀樹・茂輝彦・山下典之・東文子・林繁美・早稲田一美・濱本秀美・前田美保・酒井恵・松崎・辻田が行い、製図は早稲田一美・濱本秀美・前田美保・酒井恵・辻田が行った。写真は現地調査を松崎・辻田が、遺物写真は竹中哲朗氏に協力をいただいた。巻頭カラー写真は渡邊康行氏に、旧石器時代の石器①は荒木伸也氏に協力いただいた。
5. 縄文土器及び須恵器・瓦の実測の大半及び石器の一部は(株)埋蔵文化財サポートシステムに委託した。
6. 本遺跡の遺物及び写真・図面等は国見町埋蔵文化財整理室で保管している。
7. 第4章第1節は川道寛氏に協力をいただいた。
8. 第3章、第4章第3節、第5章第3節は竹中哲朗氏に協力をいただいた。
9. 石器実測図の点線は当時の折れ、実線は発掘時の折れである。
10. 方位はすべて真北である。
11. 現地調査および本書の刊行にあたって多くの方々からご助言いただいた、記して謝意を表します。
橘昌 信（別府大学教授）、松藤和人（同志社大学助教授）、佐川正敏（東北学院大学）、長岡信治（長崎大学教育学部助教授）佐藤良二（二上山博物館）、水ノ江和同（福岡県総務部国立博物館対策室）、早田 勉（古環境研究所）、中川和哉（助京都府埋蔵文化財調査研究センター）、絹川一徳（大阪市文化財協会）、森川 実、萩原博文（平戸市教育委員会）、川道 寛（長崎県立西高等学校）、渡邊康行、古門雅高（長崎県教育庁学芸文化課）、荒木伸也（長崎県有家町教育委員会）、竹中哲朗（長崎県教育庁学芸文化課）、福岡旧石器文化研究会、長崎県教育庁学芸文化課、（順不同）
12. 本書の編集は辻田による。

本文目次

巻頭カラー① 縄文土器

巻頭カラー② ナイフ形石器他

第1章 調査の経緯

第1節 発掘調査にいたる経緯…………… 1

第2節 発掘調査の経過…………… 1

第2章 島原半島と松尾遺跡

第1節 国見町の歴史的環境…………… 2

第2節 松尾遺跡の地理的・地形的環境…………… 4

第3節 層 位…………… 4

第3章 検出された遺構と遺物

第1節 土坑・住居跡・掘立柱建物…………… 5

第2節 遺構出土の遺物…………… 7

第4章 遺 物

第1節 旧石器時代の遺物（1）…………… 9

第2節 旧石器時代の遺物（2）…………… 13

第3節 縄文時代早期及びその他の土器…………… 16

第4節 縄文時代の石器…………… 29

第5章 ま と め

第1節 旧石器時代について…………… 35

第2節 縄文時代について…………… 35

第3節 古墳時代について…………… 37

挿 図 目 次

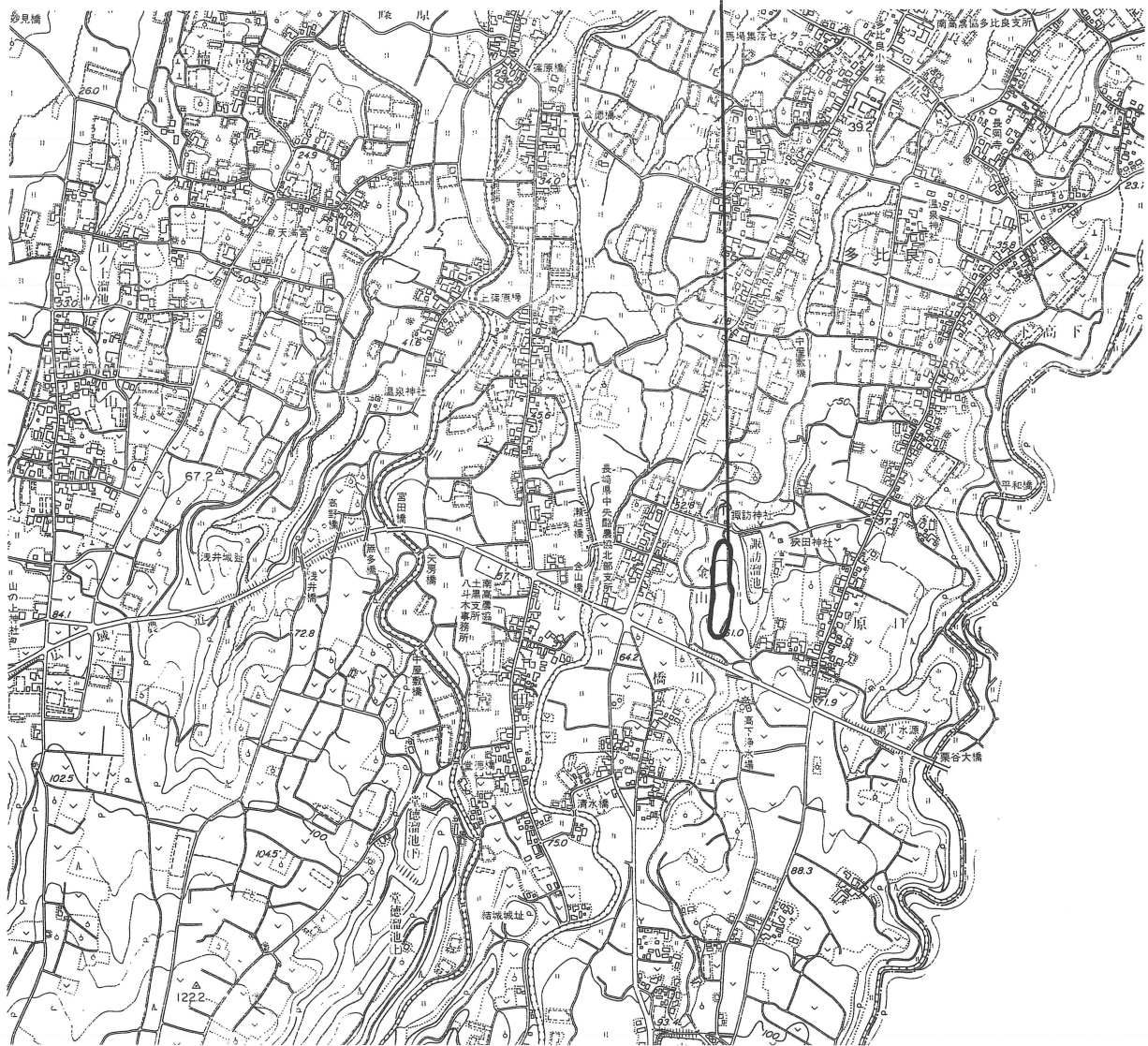
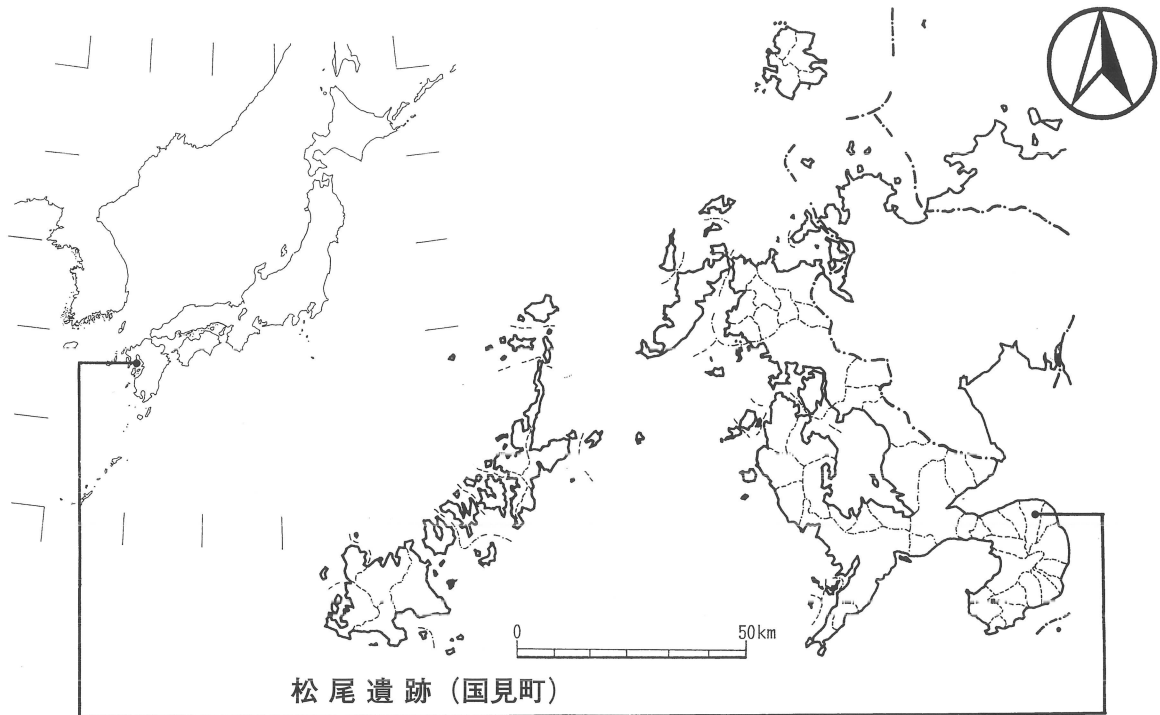
第1図	遺跡位置図	
第2図	調査区配置図	1
第3図	国見町遺跡地図	3
第4図	基本土層図	4
第5図	土 坑 (1/80)	5
第6図	住 居 跡 (1/40)	5
第7図	掘立柱建物 (1/40)	6
第8図	土坑出土遺物 (1/3)	7
第9図	住居跡出土遺物 (1/3・1/2)	8
第10図	旧石器時代の石器① (2/3)	11
第11図	旧石器時代の石器② (2/3)	12
第12図	旧石器時代の石器③ (2/3)	14
第13図	旧石器時代の石器④ (2/3)	15
第14図	縄文時代の土器① (1/2)	19
第15図	縄文時代の土器② (1/2)	21
第16図	縄文時代の土器③ (1/2)	22
第17図	縄文時代の土器④ (1/2)	23
第18図	縄文時代の土器⑤ (1/2)	24
第19図	縄文時代の土器⑥ (1/2)	25
第20図	その他の土器 (1/2)	28
第21図	縄文時代の石器① (2/3)	30
第22図	縄文時代の石器② (2/3)	31
第23図	縄文時代の石器③ (2/3)	32
第24図	縄文時代の石器④ (1/4・1/3)	33
第25図	松尾遺跡類似資料 (2/3)	36

表 目 次

第1表	主要遺跡一覧表	3
第2表	土坑・住居跡出土遺物観察表	8
第3表	旧石器時代遺物計測表①	10
第4表	旧石器時代遺物計測表②	16
第5表	土器観察表① (早期)	26
第6表	土器観察表② (早期)	27
第7表	土器観察表③ (その他の土器)	28
第8表	縄文時代石器計測表	34
第9表	島原半島の古墳時代住居跡	37

写 真 図 版

図版 1	松尾遺跡周辺航空写真（昭和35年頃国土地理院）	41
図版 2	遺跡近景 調査風景 遺物検出状況 古墳時代住居跡検出状況 石皿検出状況 磨石検出状況 土層検出状況 完掘状況	42
図版 3	縄文時代の土器①	43
図版 4	縄文時代の土器②	44
図版 5	縄文時代の土器③	45
図版 6	縄文時代の土器④	46
図版 7	縄文時代の土器⑤	47
図版 8	縄文時代の土器⑥	48
図版 9	その他の土器	49
図版10	土坑・住居跡出土の土器①	50
図版11	土坑・住居跡出土の土器②	51
図版12	土坑・住居跡出土の土器③	52
図版13	縄文時代の石器①	53
図版14	縄文時代の石器②	54
図版15	縄文時代の石器③	55
図版16	旧石器時代の石器①	56
図版17	旧石器時代の石器②	57
図版18	旧石器時代の石器③	58



第1図 遺跡位置図